## 横山勝義さんを憶う

工学院大学生産機械工学科　矢部　眞

名誉会員（昭和57，58年会長，以下昭和は略）横山勝義さんは63年6月7日逝去．72才．まだまだご活躍が期待される年齢で残念でならない．月日の経つのは早く，時間とともにご存知の方が少なくなる．筆者は旧国鉄（以下旧は略）で2回ほど直属部下でお世話になった．書きにくいが敢えて筆をとりご努力を記す．直接筆者が関係したことだけに限ることをお許しいただきたい．

最後にお目にかかったのは62年7月末．上司でともに媒酌人をお願いした先輩の葬儀の日．帰途2人となり駅前で氷水をご馳走になってから，菊名―渋谷まで学会のある問題で議論．意見不一致．63年1月日科技連の賀詞交換会で某先輩から前年末倒れられたといわれ驚いた．

後で聞くと12月23日夕気分悪く早目にKKレールウエーシステムリサーチ（RSR）退社．新宿―原宿間は山手線，乗換えて千代田線で天王台までが径路だが，不調ひどく大手町で下車．救急車で日大救急センターへ．診断は脳内出血で手術不能箇所と．2月にお宅の近くの病院へ移られ加療されていて再発しなくなられたとか….

初めてお話をうかがったのは31年1月．筆者が工作局工場課（車両計画・管理担当のシマで後に分離し車両課）補佐拝命の時．横山さんは総括補佐．13年東大機械卒の大先輩で秀才（卒業時ウェスト賞受賞者とは後で知った）の評判高く，体格も良い方で共に独身．筆者は運転局採用で工作局へ．本社勤務は初めて…….恐る恐る挨拶．開口一番“君の好きなようにやれ，応援する”．続けて“ここは工作系のフロント．他系（事務系に多いと）から脅されたらそのままで戻れ．後は引き受ける．”ご注意のことが起こり報告したら直ちに動かれ，おかげで遅れたものの工作系の現場長にも他系同様手当支給が実現．このシマでは2人以外は高小卒くらいで，10年以上従事し，中には天皇という悼名の人も…….ご自身名文家だが直接起案されるまでもなく，この人々が身を粉にして働いていたのが印象的．またこの年の春 MAPI の原本を読破されていた．3月末広島工場長へ栄転．竜馬のような方だ…….

33年2月審議室（長期計画作成）が強化され，ORセンターが新設．担当調査役として横山さん．拝眉時“これで工作局長を棒にふった”弱音を吐かれたのはこのときかぎりだった．そこで“工作局長も重要ですが，再建のためには審議室長がより重要では？　室長になって下さい”と筆者．“なれるものか”．しかし，目を見はるご活躍で37年2月室長拝命．故馬場知己さん（成蹊で小学校から高校まで同期）のご尽力もあり感激した．実際はトップのご判断では？　35年2月に筆者もORセンターへ…….

電々は遅れてOR委員会発足．担当調査役が来訪され，この質問が契機となり，横山さんが“旅客サービス率”という測度を考案されてサービスのQC化が実現した．

34年3月丸ノ内線全通に伴い中央線朝の通勤客の転移を有志で調査，後にシミュレーションで構造を実証．

NEAC 1201導入．プログラムを学ばれ自ら駆使等，しかし，一番のご功績は，全社一丸のOR研究発表会を開始されたことでは？　専門別のは多々あったが…….“皆でやろう，OR”の具体化．さらに通信教育も開始された．

34年10月，日本生産性本部“OR視察団”の一員として渡米．予定にないシューハート博士宅訪問も….また35年国際統計会議開催に当り，前例を調査して国鉄が10万円寄付し，企業からの寄付のよび水になったとか….36年同会議パリ開催時出席された．

33年9月，日科技連の信頼性研究委員会（高木昇委員長）発足時，国鉄から2人で出席．横山さんが“信号回路に良い”と判断．東海道新幹線に応用し成功―在来手法で7割まで進んでいたのを破棄して….

34年，本学会庶務理事．理事会の決議により日科技連から独立が決定，故景山文蔵幹事と共に事務所，専任職員採用等大活躍され今日の礎を基かれた．

39年2月～41年10月，常務理事北海道支社長．以後汽車製造，川崎重工業（新交通システム開発に従事．“ポートライナー”）を経て，52年～54年㈳海外鉄道技術協力会理事長（最寄駅は大手町）．国鉄が左前となり，2度目のご奉公のトップの天下り先きが少なくなり譲られたが残念だったのでは？　先輩のご援助でRSR創設・学会のほうでは52年～53副会長も….

私事で恐縮だが，53年6月 IFORS トロント大会のさい学会から代表団を派遣することになって団員を募集した．横山さんから“いろいろ世話になったが何もしてやれなかった．学位取得の一助となろう，参加費出すから…”と電話をいただいた．固辞したかったが….会長退任時115万円学会に寄付されたとか….逝去後勲3等瑞宝章．改めてご冥福を祈る．合掌．


© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．